

平成23年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	外国人児童生徒の母国政府との協議会等運営事業	担当部局庁	大臣官房国際課			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	開始：平成19年度 終了：平成22年度	担当課室	国際課企画調整室			企画調整室長 佐々木 亨	
会計区分	一般会計	施策名	XⅢ-1 国際交流の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	日本国文部科学大臣とブラジル連邦共和国教育大臣との間の教育に関する覚書(平成18年4月) 日系定住外国人施策に関する行動計画(平成23年3月31日日系定住外国人施策推進会議)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成18年4月に日伯政府間で覚書が締結されたことを受け、日本に定住する日系ブラジル人の子どもの教育の問題に関して、日本政府とブラジル政府との間で情報交換及び教育分野での協力の促進を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	ブラジル政府と協議会(日本-ブラジル二国間会議)を開催し、日本に定住する日系ブラジル人の子どもの教育の現状と課題等について、ブラジル国内の教育事情と合わせて、情報交換及び意見交換を行う。さらに、外国人集住都市等の自治体やブラジル人学校等の関係者等に対して、同協議会で得た情報に基づき、情報交換・意見交換を実施する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		補正予算	6	6	4		
		繰越し等	0	0	0		
		計	6	6	4		
	執行額	2	3	1			
	執行率(%)	33.3%	50.0%	25.0%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	本事業は、日本政府とブラジル政府との間で情報交換及び教育分野での協力の促進により、ブラジル人学校に通う子どもの教育環境を改善すること(日本社会への適応や安定的なブラジル人学校の運営の促進等)を目的としており、数値で定量的に示すことが難しい。		成果実績	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	日本-ブラジル二国間会議の開催回数(ブラジル国立教育調査研究所職員及び在日本ブラジル大使館職員との意見交換を含む。)		活動実績(当初見込み)	回	1	1	1 (1)
	日本-ブラジル二国間会議参加人数		活動実績(当初見込み)	人	18	18	0 (18)
	各種学校として都道府県より認可されているブラジル人学校数		活動実績(当初見込み)	校	5	6	12 (6)
単位当たりコスト	3百万円/会議1回開催		算出根拠	単位当たりコスト=平成21年度執行額/開催回数 (平成22年度については、ブラジル大統領選挙の影響で会議開催日程の調整が出来なかったため、開催していない)			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	計						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・日本－ブラジル二国間会議のため、地方自治体関係者やブラジル人学校等の関係者と情報交換・意見交換を行い、現場におけるニーズの把握に努めるとともに、過去の会議の開催結果について、その後の業務の運営に反映するよう努めた。</p> <p>・平成22年度不用額の要因としては、ブラジル大統領選などの影響により、会議そのものが開催されなかったため。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
		平成21年度レビューの指摘を踏まえ、平成22年度をもって廃止のうえ整理統合している。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

**A.文部科学省
1百万円**

職員旅費
庁費
諸謝金

0.6百万円
0.3百万円
0.1百万円

}を含む

日系ブラジル人の子どもの教育の
現状と課題等について、ブラジル政
府関係者と協議会等を実施する。

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単
位:百万円)

A. 文部科学省			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
その他	職員旅費、庁費、諸謝金	1			
計		1	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)